

アドラー心理学のあれこれをお届けします



ADLER NEWS

早稲田大学アドラー心理学研究会主催の公開研究会（兼『幸せな劣等感』の出版記念トークライブ）を開きます。

早稲田大学アドラー心理学研究会主催の公開研究会を開きます。この公開研究会は2月に出版された『幸せな劣等感』の出版記念会を兼ねています。アドラー心理学に興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

- ・日時 2017年3月19日（日）13:00～16:00
- ・場所 早稲田大学早稲田キャンパス 26号館502教室
- ・参加費 3,000円（本『幸せな劣等感』と資料を含む）
- ・定員 50人
- ・主催 早稲田大学アドラー心理学研究会
- ・申し込みサイト <http://kokucheese.com/event/index/456344/>



放送大学高知学習センターの企画でアドラー心理学入門講座を開いてきました。

2月19日（日）に放送大学高知学習センターの企画で、アドラー心理学入門講座を開いてきました。参加募集をかけたらずいぐに定員が埋まってしまったので、人数を拡大したくらいの人気ぶりでした。最終的には100人を超える参加者が集まりました。

10:30から16:00までの講座では、質問カードでたくさんの質問をいただきました。

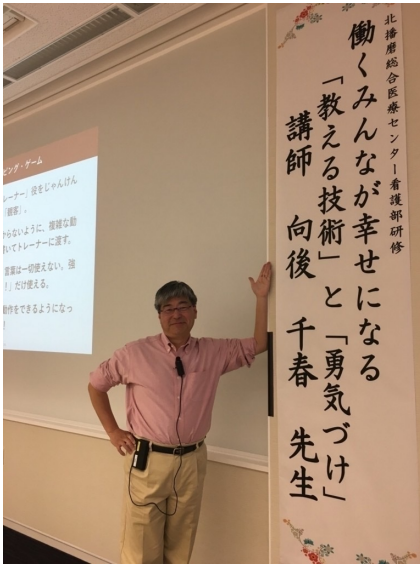
みなさん積極的に参加していただき、とても雰囲気の良い講座となりました。

出版されたばかりの『幸せな劣等感』を40冊持っていきましたが、すぐに売り切れてしまいました。



高知学習センターの吉倉先生はじめスタッフの皆さん、お世話になりました。高知、いいところです。またうかがいます。

北播磨総合医療センターの看護部研修として「働くみんなが幸せになる"教える技術"と"勇気づけ"」の研修を実施してきました。



2月12日（日）に、北播磨総合医療センターの看護部研修として「働くみんなが幸せになる"教える技術"と"勇気づけ"」の研修を5時間で実施してきました。50人超の方に参加いただきました。みなさんありがとうございました。

この研修は「教える技術=インストラクショナルデザイン」と「生きることの科学=アドラー心理学」を組み合わせたものですが、やるたびにインストラクショナルデザインとアドラー心理学の相性の良さを感じています。

この2つは出自は全く違うものです。特にインストラクショナルデザインの源流はスキナーの行動分析から来ていますので、アドラーとは対極にあるわけですが、組み合わせると不思議なくらい違和感がありません。理論や原理は違っても、現実問題の解決法としては一致することは別に不思議なことではないのですが、そこが楽しいところです。

最近読んでいる『人間科学におけるエヴィデンスとは何か』という本では、人間科学を「人を支援する実践を支えるための学問」として定義しています。具体的には、保育、教育、介護、看護、医療、心理臨床というような学問です。こうしてみると看護領域から、インストラクショナルデザイン（教育）とアドラー心理学（心理臨床）への要請が出てくるのは不思議ではなく、もともとが人間科学という大きな流れの中にあるということに気づかされるのです。

4月13日（木）から全8回「アドラー心理学入門講座」が始まります。

アドラー心理学の入門編です。アドラー心理学を初めて学ぶ人に、楽しいワークを交えながら、その全体像を優しくお伝えします。

ただいま申し込み準備中です。ご希望の方は、もうしばらくお待ちください。

「note」からいつでも最新記事が読めます。

去年から使い始めたnoteというサイトでは、ここに載せるための記事を随時配信しています。下記のサイトにアクセスしていただくと、いつでも最新の記事と、過去の記事を読むことができます。どうぞご利用ください。

[note版「ADLER NEWS」](#)

ADLER NEWS (vol.3 no.3)

2017年3月1日 Chiharu Research Institute (CRI) 発行

ニュースレターの登録は無料です。

このニュースレターは自由にファイルコピーあるいは印刷して友人に回してください。

登録・解除はこのアドレスまでメールでご連絡ください→ adler.cri@gmail.com